



No.72

令和5年10月16日号
発行・岩手県西和賀町議会



ひろがれ!!
西和賀の輪
たかはし ゆうた
高橋 悠太 さん Vol.22

NO.70号の小田島宏輔さんから紹介されたのは、北上済生会病院で理学療法士として働く高橋悠太さんです。
盛岡市で働いていた経験ももつ悠太さん。結婚を機に西和賀にUターンしました。町での暮らしをどのように感じられているのでしょうか。
関連記事20ページ
(令和5年9月21日取材)

- 9月定例会
- 決算審査特別委員会
- 補正予算
- 一般質問 8人が質問

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町議会だより No.72

発行日/令和5年10月16日、年4回発行
編集/岩手県・西和賀町議会広報編集責任委員会
印刷/鶴田印刷株式会社・雄勝市

発行/岩手県・西和賀町議会
〒029-5512 岩手県西和賀郡西和賀町川尻40-40番地71
西和賀町議会事務局(TEL)0197-82-2115 伝0197-82-2171



家族で過ごす時間が楽しいと話す悠太さん

西和賀町に移住して頑張っている人や生まれてから現在まで西和賀町で暮らす皆さんを紹介します。
ひろがれ!! 西和賀の輪

たかはし ゆうた
高橋 悠太 さん (前郷・29歳) Vol.22

学生時代を青森で過ごし、盛岡市で働いていた悠太さん。結婚を機に、西和賀町へUターンしました。ぶなの園と同じく理学療法士として働く優貴さん、長男渚太さん(3歳)、長女陽さん(1歳)の4人家族です。

問 どんな仕事をされていますか?
北上済生会病院で理学療法士として働いています。患者さんは、病後の回復であったり、怪我をされた方であったり、症状がいろいろで難しさもあります。でも患者さんが徐々に回復されて、そのお手伝いができたと実感したときには、とてもやりがいを感じます。

問 西和賀町に移住して感じたことは?
子ども時代は沢内で育ちましたが、高校以降は町を離れていました。大人として住み始めると、地元のことでも新しい発見が多いです。特に地域の人や親せきなど、大人同士としてかかわる中で、人と人とのつながりの大切さを感じます。下の沢のお祭りでは、自分も運営側として作り上げる楽しさや充実感がありました。自分のような年代も地域の活動にかかわってほしいのが、すっごくいいと思っています。

問 議会や町に望むことはありますか?
若い世代が町内で暮らしやすくなるためには、町内に働く場があることが大切だと思います。今は子育てで忙しいので、日用品や子育てに必要な物が、手に入りやすくなるとうれしいです。また、自分の子どものことを考えてみても、子どもの数は減っているけれど、教育環境を整えてほしいと感じます。

紙上クイズ

スミからスミまで

空欄に適切な言葉を入れてご応募ください。当選者には景品を差し上げます!!

- 問題文**
- 令和4年度から地域でさまざまな企画や活動を行った〇〇支援員。(漢字2文字)
 - 町民バスのリアルタイムの運行状況が確認できるようになった〇〇ロケーションシステム。(カタカナ2文字)
 - 4年ぶりに再会される西和賀高校の〇〇派遣。(漢字2文字)

- 前号の答え**
1. 8 2. 川舟 3. タブレット

【応募方法】
はがきやファックスで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、議会だよりに掲載のため、議会に対するご要望、ご意見などあわせてご記入ください。なお、匿名での受け付けはしません。

【応募先】
〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、ファックスの場合は0197-82-2171まで

【締め切り】 11月10日消印有効とします。

【発表】
次回号で当選者(特に断りがない限り、氏名と地域)を発表します。

【No.71の当選者の発表】
佐藤永子 様(若畑)・照井定子 様(湯本)
長谷山悦子 様(湯川) おめでとうございます。

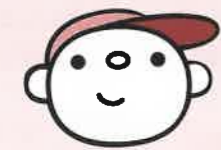
暫時休憩
以前は町の地域おこし協力隊として、この5月からは町議会議員として働いていますが、並行して、雑誌やウェブメディアの記事執筆を10年以上続けています。
今号では試験的に、誌面の一部デザインを思いっきり変えました。見る人が見れば「あの自治体だな」とすぐ気づかれるくらい、思いっきり参考になりました。
議会が発するメッセージが文字だけでなく、デザインからも伝わるよう、今後いろいろな試すつもりです。ご意見・ご感想、どしどしお寄せくださいませ!
広報編集常任委員会
副委員長 唐仁原 俊博
【発行責任者】
議長 高橋 雅一
【議会だよりは広報編集常任委員会にて編集しています】
委員長 真嶋 実
副委員長 唐仁原 俊博
委員 普本 歌織
高橋 敏樹
川田 敏



知ってるようで知らない 議会deお勉強!?④6

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。

今回は
けっさんしんさ
決算審査
についてじゃ



なるほど。
決算が議会で
認定されないの
どうなるの?



そろなんだあ。
集計したあと
どうなるの?



町の決算審査って
なあに?



そつじやなあ。
認定されなかつた場合も決算としては確
定されるんじやが、決算の内容に何らかの
問題があつたと議会が意思を表明したこ
とになるのう。
町長をはじめ、職員に「このままじゃい
かんぞ」というメッセージになるんじや。



うむ。
町長は町の監査委員に支払いなどに問題
がないかどうか審査してもらうんじや。
早くて9月定例会で審査し認定してもら
うんじや。

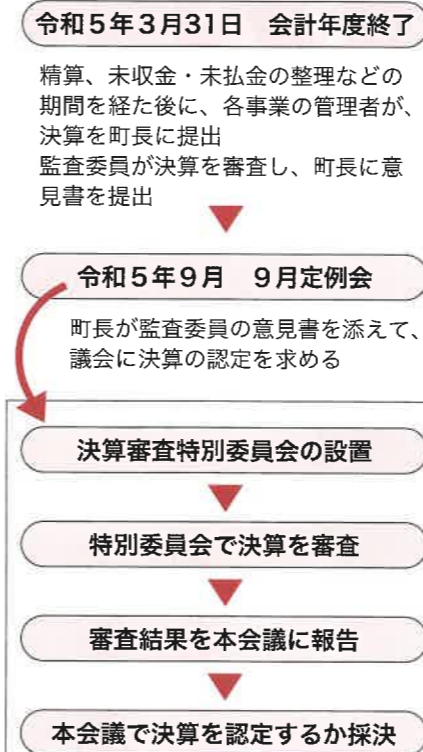


ふむふむ。
決算とは一年間(4月から翌年3月まで)
の町の収入と支出がどのように使われたの
か集計したもののじやよ。
次の予算や事業を進めるための参考にも
なるんじや。決算書は町長が毎年集計して
住民に知らせるために議会に提出している
ぞ。

会議規則等、西和賀町例規集は西和賀町公式ホームページでご覧いただけます
(https://en3-jg.d1-law.com/nishiwaga/d1w_reiki/reiki.html)



令和4年度の決算が認定されるまで



第4回西和賀町議会定例会は9月5日に開会され、令和4年度の決算審査特別委員会(委員長:柳沢安雄議員、副委員長:真嶋実議員)を設置しました。決算審査特別委員会は8日から13日まで、一般会計のほか、6つの特別会計、2つの公営企業会計の予算が適正に執行され、効果的に事業が行われたかを審査しました。

決算審査特別委員会の審査結果は15日に本会議に報告され、すべての決算を認定しました。

ここでは、決算審査特別委員

みんなのお金は適正に使われた? 決算審査特別委員会



決算付属資料

会で行われた議員と当局の質疑をダイジェストで紹介します。決算に関する資料は町ホームページに掲載されています。「決算書」そのものはかなりの量ですし、数字ばかり並んでいても、お金が何に使われたのかわかりにくいかもしれません。決算資料の「決算付属資料」は町の考え方や事業内容の説明も記載されています。このページと合わせて読むと、町のお金の使い方がより理解できるかと思えます。

ドローンは便利だが悪天候では飛ばせない

Q 町で所有しているドローンは7月豪雨でも活用されたか。

A 悪天候では使用できず、被害状況確認においても必要な場面がなかった。これまでは雪による建物被害の状況把握など、月に1、2回程度使用している。

西和賀消防署 会議室の利用状況は?

Q 西和賀消防署清掃業務委託料の詳細は。

A 旧開発総合センター解体により庁舎内の会議室が減少し、消防署2階の会議室が利用されている。会議室の利用は令和3年度80件、令和4年度121件、今年度8月まで44件の利用がある。利用後は利用者が会議室内を清掃するが、廊下やトイレなどの清掃は委託している。

ふるさと納税 ミスの再発防止に努める

Q ふるさと納税寄付額が減額となった原因は。

A 町において、ふるさと納税はほとんどがポータルサイト経由。昨年度、物価高騰の影響で多くの返礼品の価格が改定され、寄付額も変更になり、昨年度までふるさと納税をサポートしていた業者(中間業者)がポータルサイトに掲載しているページを更新した。その際、返礼品固有の情報を引き継ぐ必要があつたが、技術的なミスによりそれができず、ポータルサイト利用者が個々の事業者のページにたどり着きにくい状況が生じた。本年度から西和賀産業公社が中間業者となり、産業公社担当者ふるさと振興課の担当者、ポータルサイト運営事業者の3者でチェックし、万全の体制で再発防止に努めている。

決算付属資料に記載がある話題はそのページ数を表示しています。

* パスロケーションシステム
スマホなどでリアルタイムの運行情報が確認できる。



スマートフォン
パソコン用



スマートフォン
以外の携帯電話用

* ファシリテーション
ものごとが円滑に進行するように支援すること。会議であれば、発言をしやすくなる雰囲気を作ったり、発言内容を整理して、次の話題につなげたりする。

* ポータルサイト
ポータルは「玄関」や「入り口」の意味で、ポータルサイトは「ある分野に興味を持つ人が最初に訪れるホームページ」といった意味合い。町はふるさと納税のポータルサイトとして、「ふるさとチョイス」と「楽天市場」を利用。

P59

質問

未利用エネルギーの状況は

ふるさと振興課長

民間事業者の調査に協力



かりた さとし
川田 敏 議員

一般質問を終えて

豊富な未利用エネルギーの活用で産業の活性化を

A 生産拡大事業によって生産量は年24〜25トンまで増えた。しかし、約半分は塩蔵され、増産に販売が追いついていない。販売を手がけている西和賀産業公社と協議しながら、販売拡大を目指す。

クマをはじめとする有害鳥獣対策

P110

Q ハンターの高齢化が進んでいるが対策は。

A 狩猟免許取得補助金を用意しているが、昨年度は利用がなかった。広報や猟友会を通じてハンターになりたい人の発掘を続けたい。

Q 農作物被害を防ぐため捕獲の要望もあるが。

A 県からの通達では有害鳥獣は追い払いが基本。まずは近づかせないために、残飯など、エサになるものを置かない。

爆音機や電気柵の設置などの手段を講じても効果がなければ、わなの設置を行い、人身被害のおそれがあれば駆除するという流れ。

未利用施設、未利用エネルギー

問 空き校舎や民間空き家の利活用は。

学務課長 旧貝沢小学校、旧沢内第一小学校は、劣化が著しく解体を視野に入れている。旧下前分校は、本年5月から、町内業者の(株)近藤設備に貸し出し、空調パネル製作の受注や作製業務が行われている。

ふるさと振興課長 空き家利用は、所有者の意向把握のための仕組みづくりを急ぎたい。

問 未利用エネルギーの利活用はどうなっているか。

企画課長 温泉熱利用は、湯本地区で温泉熱を利用した民間事業者による



体育館を利用し空調パネルの作製を行っている

プロジェクトが計画されている。木質バイオマスエネルギーは「地域内エコシステム」協議会を設立し利用促進を図っていく。このほか、小水力発電、地熱発電の事業者が本町の事業実施が可能かどうか調査のため訪れている。民間主導による脱炭素に向けた取り組みに協力、支援をしていきたい。



病院敷地内の医師住宅は日々活用されている。

研修医受け入れで医師住宅が効果を発揮

Q 昨年度整備した医師住宅1棟2戸の状況は。

A 主に*臨床研修医師の宿舎として利用している。

4週間ごとにひとりずつ滞在するが、清掃や布団のクリーニングを行う必要もあり、2戸を交互に使用できるので、スムーズな受け入れができています。夜間など場合によってはすぐに駆けつけられるようになったため、病院近くに住宅を確保した意義があった。

経験を積み重ね調理業務を改革

Q 給食センターが稼働したが、調理に問題は。

A 工程や作業動線など、稼働から1年半で多くの改善があった。さらなる改善のため調理員とともにほかの給食センターを視察する予定。

Q 調理設備がオール電化のため、電気代高騰の影響を大きく受けているか。

A 当初予算計上が820万円、決算額は1061万円になった。電気料は大きな課題なので、節電に努めながら、取れる対応を考えたい。

部活動の指導に外部指導員を配置

P145

Q 中学校の部活動に外部の指導者を招くのは働き方改革に関係しているのか。

A 教員の負担軽減の意味合いもあるが、全国的に生徒数が減少していることも理由のひとつ。チーム人数を満たせなくなり、学校単位での部

活動が成り立たず、全国的に地域連合チームが増えている。

Q 部活動の選択肢が少ないという声がある。外部指導員に協力してもらえば新しい部活動も可能になりそうか。

A 現在、平日は学校の部活動、土日は地域クラブ活動という位置づけになっている。今後さらに地域クラブ活動への移行が進むだろう。地域クラブが生徒の受け皿になれるような体制をしっかりと作りたい。

志賀来スキー場クロカン旧コースの活用は

P152、153

Q 昨年度のクロスカントリー大会では、ショートコース(新コース)のみ使用された。ロングコース(旧コース)は普段から整備されておらず、練習にも使用できない。

A 町からトップレベル選手が生まれた要因のひとつは、長い旧コースで滑り、フォームを鍛えられる環境があったからでは。旧コースも活用できないものか。旧コースについては、用水路の存在や林で選

地域計画の状況

問 地域計画の状況はどうなっているか。

農業振興課長 国から出された地域計画は、農地一筆ごとに今後のあり方を示すことが求められている。集落ごとに農地管理のあり方を具体的に定め、さらに進めていく必要があると考えている。

問 計画策定に当たった課題や問題は何か。

農業振興課長 計画策定では、次の3点が課題や問題だと捉えている。①農地を「産業政策」、「地域政策」の2つの面で捉え、必要な対策を行うこと。②農地の利用に関する基本的な考え方を整理すること。③担い

手の確保に関する基本的な考え方を整理すること。

「地域計画」とは通称、「人・農地プラン」。地域農業を維持するため、誰が、どこを農地で、どんな作物を、どのように栽培するか、これからの地域農業を地域のみんなで話し合い、作り上げていく将来計画のこと。

質問

かわまちづくりによる収益化は

ふるさと振興課長

資源を生かす環境整備が主眼



とうじんばら としひろ 唐仁原 俊博 議員

一般質問を終えて

町外の人を呼び込み
“外貨を稼ぐ”意識が必要

かわまちづくり事業

問 かわまちづくり事業の上野々地区の進展は。

ふるさと振興課長 昨年度、上野々地区では、地域住民や関係機関からの聞き取り等をもとに基本構想を策定した。本年度中に公園及び駐車場の詳細設計を行い、来年度工事着工の予定。

なお、湯本地区は令和3～5年度、無地内地区は7～8年度、天ヶ瀬地区は6～8年度に整備する計画である。

問 かわまちづくり事業の計画には「来訪者に楽しんでもらい、お金を使ってもらおう」という視点が抜け落ちていないと感じるが。

手が見えなくなるといった課題からクロスカントリースキークース活用検討委員会を開催し、スタートからゴールまで競技の様子が見渡せる新コースを整備した。少子化やクワカンの競技人口の減少もあり、競技の楽しさの体験や、スプリント式による他の大会との差別化など、関係者と協議し決定した大会内容であり、何度か実施したうえで見直しを図りたい。

圧雪車購入により作業効率は上がったが、旧コースも毎日整備するのは負担が大きい。圧雪車の運転技術も関係するが、従事員は季節雇用のため毎年慣れた人が来るとも限らないことか

ふるさと振興課長 河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組みであり、いかに収益化するかは重視していない。今後可能な範囲で取り組んでいく。

問 ほっとゆだ駅周辺は空き家を含め廃業した店舗物件が点在している。かわまちづくり事業に併せて、活用の検討は。

観光商工課長 駅周辺は地域住民の生活スペースでもある。かわまちづくり事業をきっかけに地域デザインを描く活動に対し必要な協力を行う。空き家活用や起業等については、駅前周辺に限らず、全町対象の支援を用意し、実際に活用されている。

男女共同参画実現に向け講演会などを実施

P150

Q 男女共同参画実現には、性別や年齢関係なく、多くの人が勉強したり、意識を変えたりする必要があるが、町民の関心はどうか。

A 昨年度はワークライフバランスについて講演会を実施した。男性5人、女性8人、無回答1人、年齢も40歳未満から70代まで幅広い参加があった。参加者アンケートでも好意的な意見が多かった。

除雪作業員確保のためのPRにSNSを活用

P151

Q 除雪作業員の確保が今年の課題だが対策は。また、女性の応募への対応は。

A 昨年度から町の除雪隊を「ウエスタンブルズ」と名付け、YouTube(チューブ)やインスタグラムを活用するPRを開始した。YouTubeはチャンネル登録者1



YouTubeで配信中のウエスタンブルズ(西和賀町除雪隊公式チャンネル)

銀河ホールの活用

問 銀河ホールは住民のための文化施設ではあるが、町外企業の式典や研修などでも活用が見込めるのでは。

生涯学習課長 町外企業の利用はないが、町内企業の総会や社会福祉協議会の福祉まつり、林業振興課による木育イベントなど、文化事業以外で



文化行政について話す住民主体のイベント「銀活」

の利用があり、親子連れでにぎわった。

昨年度まとめた、銀河ホールの「今後のあり方基本方針」には「多目的な活用」と盛り込んでいる。文化事業以外にも、企業による利用、ホワイエを活用した学習や休憩スペースの設置など、誰もが気軽に立ち寄れる場所として、町民に限らず町外の方の活用も進める。

ら、すぐに対応するのは難しい。

09人、最も視聴された動画は4万7000回再生された。本年度からは地域おこし協力隊の募集も開始し、町外からの雇用に取り組み。

性別による制限はつけていないが、基地のトイレや休憩室など、受け入れ態勢の整備は必要。

「小学3年生まで」病児保育の対象は適切か

P137

Q 病児保育の対象が「小学校3年生まで」の理由は。

A 町で基準を定めているが、そのくらいの年齢

地域運営組織など「実績ゼロ」が続くが...

P53

Q *地域運営組織の設立など、長らく実績ゼロの事業もある。やり方を見直さない限り、ずっとこのままでは。

A 地域運営組織は、昨年度より集落支援員配置や地域と行政との懇談会を行うなど、さらに議論が進むよう仕掛けている。理解が進んでいる地域を重点的に支援するなど、先行例をひとつでも作りたい。

人材確保が最大の課題と認識

P62、99

Q 6次産業や*地域商社など、新事業推進のため、まず人材確保が重要では。

A 専門人材も事業を切り盛りするプレイヤーも不足している。ただちに解決できるような方策はないものの、最大の課題という認識はある。

* 地域商社 内閣府は「農産品、工芸品など地域に眠る魅力ある産品やサービスの販路を、生産者に代わって新たに開拓し、1円でも高く生産者から産品を買い取れるよう、市場から従来以上の収益を引き出す役割を担う」と定義している。

* 地域運営組織 地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域課題の解決に向けた取り組みを、持続的に実践する組織。

* ウエスタンブルズ 公式YouTubeチャンネル 公式インスタグラムアカウント

委員長報告



花巻農協西和賀花卉生産組合提供によるリンドウ

決算審査特別委員会での審査を委員長が本会議で報告

決算の成果や検証分析までが仕事

町長をはじめ職員のみなさんは、単に各事業の収支額を合わせることに留まらず、事業の目的に照らしてその成果や検証、分析までを決算の仕事と認識し、次年度事業に活かしてほしい。

最大の成果と適切な予算執行を

職務の専門技能研修に加え、職員の方針順守、規範意識の向上への取り組みが求められる。また、限られた予算の中で最大の成果をあげる事業執行と適切な予算執行に努めてほしい。

タブレット端末活用で新しいカタチ

本決算審査特別委員会はタブレット端末を活用した初めての審査となり、新しい時代に向き合うカタチとして一歩前進した委員会となった。活用改善を要する点は今後解消に努めていきたい。



副委員長 真嶋 実



委員長 柳沢 安雄

委員監査報告

改善に向けた努力を評価するも進展が芳しくない事項あり
検討と早期対応を望む

事務処理ミス対応は…報告、再発防止策、情報共有で改善

職員による不適切な会計処理により町民の信頼を失う事案も発生した。

事務ミス発生時の報告体制、再発防止策の検討、情報共有体制などで改善が見られ評価をするが、改めて法令順守体制を望む。

予算流用は…

改善に向けた対応は評価

依然安易な理由と認められる予算額の流用もあるが、財政主管課では今後事務処理手順の見直し、要綱改正にも取り組むこととしており、改善に向けた対応は評価したい。

財産管理体制は…目立った進展なし

令和2年度から公有財産の財産台帳の整理及び管理体制の改善を求めてきたが、令和4年度も目立った進展はなかった。早期に整理し、関係規則を遵守し、適正な管理に努めてほしい。



菅原 利明 監査委員



高橋 政芳 代表監査委員

ICT教育の現状と未来

問 文部科学省が示したGIGAスクール構想によって教育現場のデジタル化が進んでいる。町立学校のICT教育の現状は。

教育長 大型の電子黒板や一人一台準備したタブレット等の機器を活用し、教材や資料の提示による情報共有、インターネットを活用した調査活動など、家庭ではドリル学習、リモート学習を行っている。

ICTの活用により児童生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組み、自分の考えを形成できる資質や能力の育成に努めている。

問 現場の先生方からの意見にはどのようなものがあったか。

教育長 肯定的な意見には、①情報の共有化が瞬時にできる、②板書の時間の短縮により児童生徒を見守る時間を確保できる、③運動や英会話の様子を撮影した動画で動作の確認と改善が容易、④リモート対応により欠席時や休校時も自宅での学習ができる、などの意見があった。

一方、課題として、①教職員のスキル向上、②WiFi環境の充実や機器の管理、③情報モラルやセキュリティ教育の難しさ、④健康面の心配、などがあげられている。そして、諸課題の改善のために町内中学校からそれぞれ1人の担当者を出し、ICT担当者連絡会議を定期的開催している。

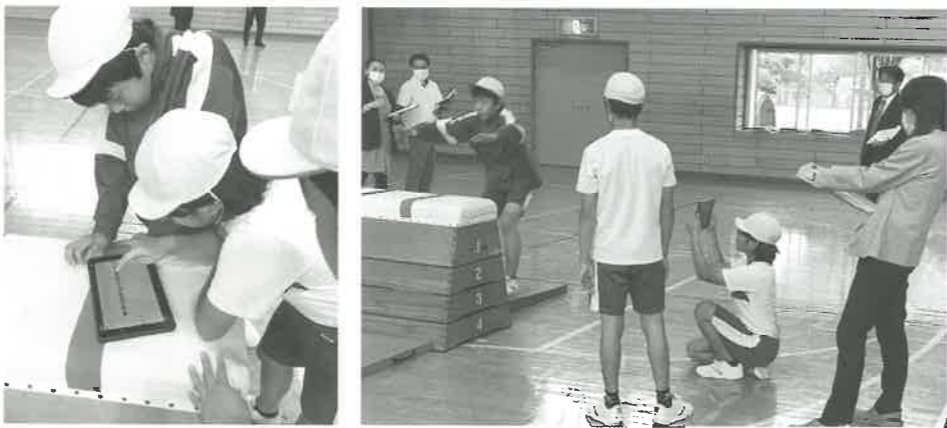
問 ICT教育の今後の方針は。

教育長 西和賀の子どもたちが、希望

ある未来の創り手となれるよう、情報活用能力の育成を目指し、①学力の定着、②課題を解決していく力の育成、③より良いICT教育推進の環境整備という3つの視点からICT教育を推進していく。

ICT教育とは

教育のデジタル化のこと。
電子黒板、パソコンやタブレットなどのデジタル機器の導入、インターネットを介した学習支援ツールの活用などを行う教育の総称。



自分の動きを見てもっと高く飛べるように

質問 ICT教育の方針は

教育長 情報活用能力を伸ばす



たかはし としき 高橋 敏樹 議員

一般質問を終えて

子どもたちに情報活用能力が身につくことを期待

補正予算を可決

4年ぶり西高生の海外派遣を再開

令和5年度 9月 定例会

補正予算の議論から一部を抜粋してお知らせします。
※9月定例会・決算審査特別委員会での議員の欠席、遅刻はありませんでした。

安心して暮らせる居住環境

問 公営住宅改修事業の課題と今後の取り組みは。

建設課長 公営住宅は、老朽化が進んでいる住宅もある一方で、管理戸数の適正化や長寿命化を含めた計画的な修繕、事業費の平準化、ライフサイクルコストの縮減に取り組むことが重要課題となっている。

なお、全56棟のうち耐用年数が経過している住棟は37棟で、全体の約66%となっている。

また、町では西和賀町公営住宅等長寿命化計画を平成26年に策定し、改善事業を進めてきた。居住性向上型、福祉対応型の改善事業を行っており、計画47棟に対し38棟を実施し、実施率81%となっている。さらに令和4年度から令和13年までの10年間

建設課 計画に沿い改修を進めていく

の改修計画を進める。

問 町内で空き家も増加しているが、今後の公営住宅の維持や整備はどのように考えているか。

建設課長 町の課題や人口動態、さらに世帯数の減少等すべて加味しながら、それぞれの住棟、団地ごとに必要な対策を考えていく。一部住宅を除き、継続して長寿命化を図る。

問 高齢者に対応した共同住宅整備の現状と課題は。

健康福祉課長 これまで高齢者や障がい者が安心して暮らせる住環境とするためバリアフリー化、水洗化等の必要な改修工事等に助成を行っている。町の65歳以上の割合が52%を超え、単身高齢者や高齢者夫婦の世帯

9月5日から15日に第4回町議会定例会を開催しました。一般質問は5・6日に8人が行ったほか、7日には補正予算8件、条例3件、その他議案合わせて3件を審議し、いずれもすべての原案を全員賛成で可決しました。

海外派遣・レストランテへ補助 西和賀高校魅力化支援事業補助金 217万円

Q 補助事業の内容は。

学務課長 オーストラリアに生徒5人、教員1人を派遣するための事業。

レストランテ事業とは…
世帯の弁当づくりの負担を軽減するため、副食提供事業を実施、利用料の一部を助成するもの。

また、レストランテ事業の利用者増加と食材等の値上がりで不足する予算経費を増額する。

令和4年3月に策定した西和賀町公営住宅等 長寿命化計画の対象住棟

	長瀬野 団地	湯田 団地	上野々 団地	猿橋 団地	新町 団地	大沓 団地	川舟 団地	合計
町営住宅	1	10	20	4	5	3	2	45
特定公共賃貸住宅						6	2	8
若者定住促進住宅		3						3
合 計								56

町営住宅とは・・・
公営住宅法により、住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で賃貸するために整備した住宅。入居の際所得制限等あり。

特定公共賃貸住宅とは・・・
特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律により、良質な賃貸住宅に対するニーズに応えるために整備した住宅。入居の際所得制限等あり。

若者定住促進住宅とは・・・
西和賀町若者定住促進住宅条例により、町内に就労する単身者向けに整備した住宅。入居の際年齢制限等あり。

が増加しており、住み慣れた本町で自立し安心して住み続けられる支援の継続が必要と考える。

生活支援ハウスは、高齢者が冬期間町を離れることなく安心して暮らせるよう今後も継続していく。



きたむら つくお
北村 嗣雄 議員

一般質問を終えて

増加する高齢世帯にさらなる居住対策の支援を望む

みんなの声

海外派遣へのご支援に感謝します。4年ぶりで準備は大変ですが、生徒にはとても貴重な体験となります。また、海外派遣は本校を選択する生徒にとって大きな魅力となっており、今後も継続してほしいと思います。



西和賀高校副校長
たけだ つよし 先生

みんなの声



たかはし あきこ
高橋 秋子さん(長野野)

毎年のことながら、冬道の安全確保のために作業して下さる職員の方たちには感謝の気持ちでいっぱいです。業務委託は人員確保のためと受け止めています。委託になっても住民の声が届きやすいと嬉しいです。



本格化した委託除雪

Q 業者委託の内容は。

建設課長 町道除雪作業は、昨年度初めて業者委託を行った。本年度は

町道除雪を委託 町道除排雪業務委託料 8714万円

昨年度より委託部分を拡大し、貝沢班、長瀬野班、中村班担当路線を全面委託する。

若年者の町内定着のために
若年者ふるさと就職支援事業補助金
136万円

Q 補助金対象者の業種、内容は？
観光商工課長 若年者を採用する事業所には、1事業所あたり3万円を6か月間助成し、対象者1人当たり1万5000円を12か月間助成している。これまで助成した業種は建設関係、福祉関係、電気関係、温泉旅館、製造業となっている。



町内旅館に就職した鎌田さん

ほっとゆだ源泉ポンプ購入
源泉揚湯用予備ポンプ
792万円

Q ほっとゆだの予備ポンプ購入意図は？
観光商工課長 予備ポンプは現在使用しているポンプに不具合があったときに、即時対応できるようあらかじめ購入する。このポンプは、ほっとゆだと沢内バーデンのどちらにも使用可能である。



同型ポンプの設置風景

みんなの声

青森市生まれで一人暮らしも初めてでした。就職支援事業補助金は「来てくれてありがとう」と言ってもらえたように感じてありがたかったです。



やまの 山人 ひとみ
かまた 鎌田 仁実さん

みんなの声

事業者としても助かっています。最近では若者に限らず地方移住する人が増えているので、「若年者」という縛りをなくしてもいいのかもしれない。



やまの 山人 ひとみ
かまた 鎌田 仁実さん

みんなの声



もちだ つとむ
橋田 勉さん(川尻)

毎日ほっとゆだの温泉を利用しています。西和賀の温泉は本当にいいなとも思っています。しかし、温泉設備のトラブルは様々なところに影響があり、ポンプ購入はともあがりたく、今後も温泉の活性化に取り組んでほしいです。

7月大雨災害対応

問 「テレビで避難情報を知ったが、どう対処すべきかわからなかった」との声が町民から寄せられた。情報伝達など災害発生時の対応は十分だったか。また、将来に備えての検証は行われているか。

総務課長 地区民への周知は、ひかり放送、安全・安心メール、県災害情報システムなどで行った。避難所ごとの対象地区を町では想定しているが、被害状況により変化する場合がある。避難所は本人が選ぶことができるため、対象地区を限定しない表示とし、ひかり放送では、避難対象地区にのみ放送した。大規模災害等に業務の持続性を確保し、早期に行政機能を回復するため「西和賀町業務継続計画」を、病



大雨による町道阿津裏線(猿橋地区)道路災害

院については「災害対策マニュアル」を策定している。本年、国の手引が改定されたので、町の業務継続計画も併せて見直しが必要と考える。

団体」との連携がとれて初めて生じた防災計画になる。このため、役場職員が平素から地域づくり組織に所属する仕組みが有効と考えるがどうか。

町長 災害対策本部の業務に職員を集中させる場面と職員が地域に入る場面を総合的に判断しながら、指摘のあった点を検討し、地域全体の防災力を高めたい。

問 災害時の情報は一方的な発信ではなく、いかに伝わるかが重要と考える。「地域づくり組織」や「福祉

健康福祉課長 一事業者のサービス縮小は、事業者の人手不足が理由だと認識している。配食サービス事業は、地域包括ケアシステム構築に重要な事業である。配食サービス事業の利用者のニーズを把握するとともに、事業者などから聞き取り調査を行い、次期計画でも継続する方向で進めていく。

質問

災害への備えは万全だったか

町長 地域全体で防災力を高める



まじま まこと
真嶋 実 議員

一般質問を終えて

被害が軽微だったと慢心することなく、新たな危機への備えが大切

条例改正

西和賀町空家等の適切管理条例の一部を改正

特定空き家等となる恐れがある管理不全空き家等に対し指導勧告ができるようにしたほか、西和賀町空家等対策協議会に地域委員を置くことができる、と規定しました。

Q 地域委員の選出の方法と役割は？
ふるさと振興課長 地域づくり組織の代表者に委員を委嘱する。空き家のある地区の代表として協議会に加わり、空き家に関する協議を行う。

Q 地域委員は地域の空き家の調査や報告をするのか。
ふるさと振興課長 義務ではないが、地域の空き家の状況を報告いただくことも想定している。

西和賀町空家等対策協議会とは？
空家等対策計画の作成及び変更、実施に関する協議を行うための協議会

特定空き家とは？

国土交通省が示している基本方針「倒壊などの著しく保安上危険となる恐れがある状態」、「著しく衛生上有害となる恐れがある状態」、「著しく景観を損なっている状態」、「放置することが不適切である状態」の4項目のいずれかに該当する空き家のこと。

配食サービスの運用

問 配食サービスは、在宅高齢者の自立した生活を支える重要な事業である。これまで土曜・日曜日の対応をしていた事業者がサービスを縮小しているとのことだが、町では状況を把握しているか。また、次期「高齢者福祉計画」での配食サービス事業の方針は。

質問

畑地化で交付金は減少しないか

農業振興課長

減少になるかは総合的に判断



たかはし ひろし
高橋 宏 議員

一般質問を終えて

農業情勢は不透明だからこそビジョンが必要

本町の農業施策

問 農地や河川に災害が発生した場合、一定期間ワンストップ窓口を設けるべきではないか。

副町長 沢内庁舎は農業振興課、湯田庁舎は総務課、建設課に相談してもらい、たらいまわしにならない対応をしている。

ワンストップ窓口とは

各種手続きの窓口を一つに集約。一か所で手続きできる形式。

問 水田活用交付金の詳細と町の現状は

農業振興課長 水張については、「水稲作付による確認」、「基盤整備等で水張ができなければ対象年度から外れる」、「湛水管理1か月以上と連作障

害が発生していないと水張とみなす」となっている。畑地化促進助成制度へは14人の申し込みがあり、3人が一次採択、11人は二次配分へ向け保留となっている。町内でのブロックローテーションは行われていない。

農業振興課長 田・畑の定義があり、これを基本とし総合的に判断するとされており、交付金減少につながる

ブロックローテーションとは

集団転作の手法の一つ。圃場をいくつかのブロックに分けて、毎年、転作をするブロックを変えていく方式。

問 畑地化を行った場合、多面的機能支払交付金や中山間地域直接交付金の減少につながるか

農業振興課長 なかなか進んでいないのが現状である。

問 本年のような高温が続くなら、「銀河のしずく」の作付け面積を広げられるよう関係機関に要望するべきではないか。

農業振興課長 農協と連携し要望していく。

問 リンドウ栽培は機械化が難しい部分がある。人手不足対策として共同選花場設置も検討するべきではないか。

問 羊農家は飼育頭数が増えていて。さらに生産者自ら加工、販売まで手掛けており将来はふるさと納税



高温により例年より10日早い秋の収穫

その他の質問

- 境界杭
- 堆肥の生産
- 農産物生産加工研究会（仮称）の取組み

農業振興課長 思うように進んでいないのが現状である。

一般質問



議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしぼられることもありません。ぜひ、生の議会を体験してください。

一般質問とは

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関してどんなことでも質問できる大事な議員活動の場です。

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は1人あたり30分以内です。

議会だよりの審議や質疑の記事は、抜粋や要約をしています。正確には、後日町のホームページに公開する会議録をご覧ください。



<https://www.town.nishiwaga.lg.jp>

8人が質問 町民目線で深く鋭く 多方面に議論

(質問順)

ふもと かおり 議員
 普本 歌織 議員
 ・自衛隊への町民の個人情報提供
 ・幼児が本に親しむ環境づくり
 ・保育所・保育園のあり方
 ・災害時の対応
 ・マイナンバーカードと医療保険証の紐づけ

なかむら ひとみ 議員
 中村 ひとみ 議員
 ・かわまちづくり事業
 ・観光商工課の取組み
 ・冬期間の来町客を増やす取組
 ・ご意見箱の設置
 ・町の特産品を海外へ

たかはし ひろし 議員
 高橋 宏 議員
 ・西和賀町の農政

まじま まこと 議員
 真嶋 実 議員
 ・7月中旬に発生した大雨による災害への対応とその検証
 ・配食サービス事業の運用

きたむら つくお 議員
 北村 嗣雄 議員
 ・安心して暮らせる居住環境の整備

たかはし としき 議員
 高橋 敏樹 議員
 ・ICT教育の方針

とうじんばら としひろ 議員
 唐仁原 俊博 議員
 ・西和賀町かわまちづくり事業
 ・銀河ホールの活用

かりた さとし 議員
 刈田 敏 議員
 ・未利用施設、未利用エネルギーの活用
 ・農業振興

質問

自衛隊への個人情報提供は

町民課長

住所や氏名など4情報を提供

自衛隊への個人情報提供

問 自衛官の募集にあたり、自治体から自衛隊への個人情報の提供は、「個人情報保護法との関連で問題があるのではないか」と全国的に指摘されている。このことに関し西和賀町ではどう対応しているか。

びに住民基本台帳法11条などの規定を根拠として「公共性が高い」と町が判断し、情報提供している。

問 個人情報保護法上の問題はないか。

町長 今後も法令を遵守し、保護に努める。

幼児が本に親しむ環境づくり

問 幼児教育では、図書環境の充実が重要であるが町の取り組みは。

学務課長 保育所・保育園では、保育士が朝の会やお昼寝前など子どもたちの心を落ち着かせるとき、子どもたちが読んでほしいときにはなるべく希望に添えるようにしている。また、町立図書館の蔵書の充実、移動図書館車の巡回などを実施し、子ど

保育所・保育園のあり方

問 本年度は保育所・保育園のあり方を検討し、方向性を定める年になっている。まちづくりの中で、保育所・保育園はどのような役割を担うと考えているか。

学務課長 保育所・保育園は児童福祉施設であるとともに、幼児教育を担う重要な機関である。「保育所あり方検討委員会」では、施設の統合、保育サービスの充実などについて話し合っている。保護者アンケートを実施したが、今後町民に広く意見を募ることも検討したい。



せんだん保育所での読み聞かせ

その他の質問

○マイナンバーカードと健康保険証の紐づけ
○災害時の対応



ふもと かおり 議員

一般質問を終えて

町として町民の個人情報は守るべき

質問

かわまちづくり事業とは

ふるさと振興課長

地域の賑わい創出事業である

問 同事業の経済的波及効果や効果額は。
ふるさと振興課長 効果額は未知数だが、地域活性化や観光振興を目的とした「河川空間」と「まち空間」の融合により地域の賑わいを創出すること、一定の経済効果が生まれることを期待している。

ふるさと振興課長 全体構想10年の経費は2億6000万円の見込み。一方、維持管理費用は大きな支出にはならないと想定している。
問 15kmのサイクリングコース・回遊ルートの工事内容は。

ふるさと振興課長 同計画では、槻沢地区から道の駅までのサイクリングコースを設置予定だが、あらたに工事等をするのではない。湯本⇄上野々⇄無地内⇄天ヶ瀬の4つのエリアでネットワークを形成し、相乗効果を生むことを狙っている。

地域資源の情報入手と発信

問 町の地域資源、例えば観光・文化・歴史・イベントなどの情報入手、発信方法は。

観光商工課長 西和賀観光協会が主体となり、観光資源のリスト化と観光における各素材収集、未開発資源の把握に取り組んでいる。地区の観光協会や各種団体との情報交換やSNSデータを分析し、ニーズに沿った情報発信に努めている。

冬期間の来町客誘致の方策

問 冬期間の来町客誘致の仕掛けづくりは。

観光商工課長 令和4年度実施の顧客満足度調査の記述回答269件のうち「雪」に関する回答が73件あり、雪への関心が多いと認識できた。天候や道路状況を懸念する人も多く、町の除雪力の高さを発信し、来町客誘致に繋げたい。

その他の質問

○ご意見箱の設置の考えは
○町の特産品（西わらび・どごろく）を海外へ

かわまちづくり事業とは
地域活性化のため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、実現性の高い水辺の整備、利用に係る取り組みを定めるもの。



10年に渡るかわまちづくり事業（広報にしわが7月号記事より）



なかむら 中村 ひとみ 議員

一般質問を終えて

持続可能な誇れる地域資源の創出と維持は人材確保が要